

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 29年度

市町村名	志木市					
提案事業名	みんなで進める 健康寿命日本一のまちづくり事業					
事業期間	27年度 ~ 27年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 埼玉県内健康寿命1位					
	(成果検証の具体的な方法) 埼玉県衛生研究所資料から検証する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (26年3月時点)	平成24年 男性4位 女性3位	目標値 (29年6月時点)	男性1位 女性1位	実績値 (29年6月時点)	平成27年 男性20位 女性3位
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		ホームページ及び広報紙により周知				

【事業効果の整理・原因分析】

平成27年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① ノルディックウォーキング事業	◎ △ ×	運動を通じた健康づくりの一環として、第1回ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会を開催した(開催:平成27年5月17日 参加者:553人)。また、大会規模を全国大会とすることで、市民だけでなく、市外からも参観者が訪れ、いろは親水公園を多くの方に知っていただく機会となった。
② いろは親水公園健康遊具設置及び休憩施設整備事業	◎ △ ×	いろは親水公園の案内看板を設置することで、容易に公園の入り口を認識できるようになった。また、公園利用者が気軽に利用できる健康遊具を設置することで、自ら健康づくりに取り組める場となった。加えて、ウォーキングコースの整備と合わせて、市内の公園に休憩できるベンチを設置することで、市民が継続的に健康づくり活動が行える環境を整えることができた。
③ チャレンジスポーツミニ二体験事業	◎ △ ×	第1回ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会において、参観者を対象に専門インストラクターによるポールウォーキングミニ体験教室を開催することで、運動を通じた健康づくりを知っていただく機会となった(参加者140人)。
④ 健康マップ作成事業	◎ △ ×	ウォーキングコースや健康遊具の設置場所などを盛り込んだ「健康遊具・スポーツ施設・公園ウォーキング総合MAP」を作成し、市内公共施設や各種健康づくり事業等で広く市民に配布を行うことで、自主的な健康づくり活動の促進が図れたものとする。
⑤ いろは親水公園内賑わい創出事業	◎ △ ×	市内保育園、幼稚園の園児たちが作成した「オリジナル鯉のぼり」をいろは親水公園内で掲揚し、にぎわいの創出を図るとともに、いろは親水公園内に、イベント等で活用できる分電盤を整備することで、イベント等を実施しやすい環境を整えることができた。
⑥ 食育推進事業	◎ △ ×	ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会において、多くの参加者及び参観者に対して、食生活改善推進員協議会による「地元の野菜を使った豚汁」を販売し、食生活改善に関する啓発を実施した。また、地域における食育推進の担い手を養成することを目的に「食生活改善推進員養成講座」を開催した結果、受講者の中から新たに12人の食生活改善推進員が誕生した(受講者数:28人)。
⑦ 健康まつり事業	◎ △ ×	第39回志木市健康まつり「大人も子どもも楽しく健康づくり」を開催した。(平成27年10月18日) 【補助対象外】
⑧ 朝霞地区4市特定検診等受診率向上キャンペーン	◎ △ ×	ノルディックウォーキング全国大会において、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)などの生活習慣病に着目した特定検診の受診率向上に向けて、埼玉県のけんこう大使に任命されたゆるキャラが一堂に会し、健康づくりや特定検診の必要性をPRした。【補助対象外】
⑨ 体力測定体験会	◎ △ ×	地域での介護予防を支援し、拡げていくための事業として一般高齢者にセミナー及び体力測定を実施。高齢者の多くが参加するイベント会場で実施することで、自らの体力を知り、維持や改善のための介護予防に取り組む動機づけになるとともに、参加者同士の交流が図られ、介護予防に資するボランティアの育成及び支援につながった。【補助対象外】

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について十分に成果が認められた点	運動を通じた健康づくりの推進や各種イベントにおける健康づくり啓発活動を通じて、市民の健康意識の向上が図れた。加えて、いろは親水公園を中心としたウォーキングコースの整備や健康遊具の設置をすることで、市民の自主的な健康づくり活動の促進が図られ、健康寿命の延伸に寄与したものとする。
----------------------	--

実施事業について 成果が不十分である点	成果指標中の埼玉県内健康寿命の順位は、目標の1位には至らなかったが、本事業を構成する健康づくり事業を展開することで、市民の健康寿命の延伸に寄与したものとする。 【65歳健康寿命】 男性：17.47年（H24）→17.47年（H27） 女性：20.57年（H24）→20.76年（H27）
成果検証を踏まえた 今後の改善策	成果指標中の埼玉県内健康寿命の順位は、目標の1位には至らなかったが、本事業を構成する健康づくり事業を展開することで、市民の健康寿命の延伸に寄与するなど一定の事業効果を得られたと考える。 今後も引き続き、運動を通じた健康づくりを推進するとともに、平成29年度は、新たに「減塩」をキーワードとした、さまざまな健康づくり事業展開することで「健康寿命日本一のま

（記入上の注意）

【成果指標の達成状況】

・達成度（A・B・C）の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果（○・△・×）の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果○」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない